



四代目けんた社長の

ヤマモク通信

第20号
2019年8月

■■■このヤマモク通信は私たちとご縁のあった方に隔月発行で差し上げております■■■

◆京都の現場、私たちにご依頼が！◆

こんにちは！山口木工所代表の山口研太です。ヤマモク通信第20号をお送りいたします。よろしく願いいたします。

さて、ちょうど1年前のお盆のとき、山県市の先輩経営者の藤岡さんから電話が掛かってきました。それは、お仕事の紹介のお電話でした。「このあとすぐS社長から山口君に電話が行くから、必ず出るように」と。S社長というのは、本巢市で社寺仏閣を得意とされる建設会社の社長。そのS社長が、京都で非常に大きな現場をやるのに、いい建具屋さんがないか、藤岡さんに相談されたのです。S社長がいままでお願いしていた建具屋さんが高齢化で廃業。どうしても有能な建具屋さんが見つからず、藤岡さんに相談され、私のところに電話が掛かってきました。「一度、京都の現場に来てください」とだけ言われ、詳しいことは聞かずに、現場に向かいました。

実際に、その現場を見ての第一印象は、「でっかい現場やなあ」というものでしかなかったのですが、詳しく聞いてみると、それは、すごい現場であることがわかりました。京都の東山に京大和という有名な老舗の料亭があります。その京大和と、スーパーゼネコンの竹中工務店、そして、ハイアットリージェンシーなどのホテルで有名なハイアットが組んで、京大和の敷地内に、パークハイアット京都というハイアットの最上級ホテルを建設する現場だったのです。

そして、パークハイアット京都の中庭に、坂本龍馬など幕末の志士が会合をしていた歴史的建築物の翠紅館(すいこうかん)と送陽亭(そうようてい)を移築することになっており、その仕事をS社長のところが受け、その中の建具については、私たちが担当させていただくことになりました。

改めて、なぜS社長が、他の都市部のどの建具屋でもなく、神岡の私たちにご依頼してくださったのか考えてみますと、やはり、任せられる建具屋が他になかったからなのだと思います。私たちの会社には、若い職人も多く、この9月にもまた新しく入社し、19人体制になります。ベテランの職人から若手の職人への技術の伝承をしっかりと行いながら、これからも、どんな現場でも任せてもらえる会社でありたいと思います。



◆編集後記◆

パークハイアット京都は、10月30日のオープンが決定しております。せっかくなので社員皆と一度、泊まりに行こうかと思ったのですが、調べてみると、1人1泊7万~8万円します…(汗)。これはさすがに難しい。というわけで、パークハイアット京都には、宿泊ではなく、また、ディナーでもなく、皆でランチならなんとか頑張っていけるかなと、思っている次第です(笑)。山口研太

■ヤマモク通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが 0578-82-0489 までご連絡をお願いいたします■

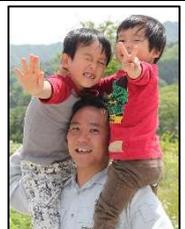
【発行者プロフィール】

- ◆名前: 山口 研太(やまぐち けんた) ◆生年月日: 1976年9月26日 ◆血液型: A型
- ◆出身地: 飛騨市神岡町 ◆出身学校: 斐太高校、上智大学(経済学部経営学科)
- ◆家族構成: 両親・私・妻・長男(8歳)・次男(6歳)の6人家族 ◆趣味: サッカー観戦(TVで)

【発行元】

有限会社山口木工所 〒506-1121 岐阜県飛騨市神岡町殿 180-6

TEL: 0578-82-0489 FAX: 0578-82-0472 山口携帯: 090-4831-9047



山口 研太